

米国大学の日本の食文化コースにおける CCBI実践の試み

ウィリアムアンドメアリー大学 日本研究学科
上級専任講師 加藤登茂子

上級学習者向けCBI

2009年: Media Genji

2012年: Culture of Nuclear Fascination

2014年: Japanese Food Culture

念 「...文化は、日本語教育において身近でありふれた概念であるように見えるが、その一方で、またはそれゆえに、単純化された理解に陥り、言語教育の究極目的である自己・他者理解または異質な物に対する受容的態度を阻む危険性を含んだ存在なのである。」

日本語教育における文化

<https://www.aatj.org/japanese-language-education>

久保田竜子

Ryuko Kubota, a Professor in the Department of Language and Literacy Education at the University of British Columbia, Canada.

「教師は文化の固定化されたイメージを客観的な真実として教えるのを避け、教科書に含まれる文化的情報を批判的に消費し使用するべきだ。」

久保田竜子(2008) 日本文化を批判的に教える」佐藤慎司、
ドーア根理子編 「文化、言葉、教育—日本語／日本の教育の
「標準」を超えて」 151-173 明石書店

「文化と言語の学びの目的は、規範的な知識をつけること以上に、将来の社会を担う学習者の社会意識を高め、文化の壁を越え、お互いの協働をとおして様々な問題を積極的に解決していく態度と力を培うことにあ
る」

佐藤慎司・熊谷由理（編）(2011)『社会参加を目指す日本語教育
—社会に関わる、つながる、働きかける—』ひつじ書房



Table of Contents

Part I: Japan's Culinary Brands and Identities

Historical Culinary Identities

Ch. 7. Rosanjin the Epicurean: Roots of a Gourmet Nation- Nancy K. Stalker

Regional and International Variations

Ch. 8. Savoring the Kyoto Brand- Greg de St. Maurice

Ch. 9. "LOVE! SPAM!" Food, Military, and Empire in Post-World War II Okinawa- Mire Koikari

Ch. 10. Nikkei Cuisine: How Japanese Food Travels and Adapts Abroad- Ayumi Takenaka

Part II: Japan's Food-Related Values

Food and Individual Identity

Ch. 11. Miso Mama: How Meals Make the Mother in Contemporary Japan- Amanda Seaman

Ch. 12. Better than Sex?: Masaoka Shiki's Foodie Haiku- J. Keith Vincent

食は人間にとって生命と健康を維持するための基本的問題であり、その意味で生物学的に普遍的な営みである。しかし反面、しばしば指摘されるように、特定地域の個人・集団の思考・感覚・生活習慣・自然環境のみならず、政治・経済・社会情勢全般とも結びつく、複合的な社会文化現象でもある。それゆえ、食のテーマは特定地域の社会と文化を総合的に理解するのに適した問題であるだけでなく、グローバル化に伴う異文化間の交流や変動、集団の葛藤や調整、地球環境などの諸問題を考えるのにも有用である。

河合利光編著 .テーマ研究と実践 「食からの
異文化理解」 .時潮社 , 2006, 217p

クラスの概要

JAPN307 Japanese Food Culture
(2014~2016 Fall)

時間 : 80分X2コマ/1週間

学生数 : 10~12名

日本語レベル: ACTFL proficiency level 中級上~

授業で扱った内容	目的	主な言語活動	教材/メディア
和食の発展史	日本人の食 の歴史を知る	読解 オーラルプレゼンテーション(グループ)	Web: にっぽにあ 2006- No.36 書籍: 食べもの文化史 外国人に自慢したいニッポンの食
年中行事と食	日本の年中行事と 食の関係、および その現状を知る	オーラルプレゼンテーション(グループ) ライティング	Facebook : 日本人学生との話し合い(年中行事と食)
「食べる」ことの 意味 日本における食 の問題	1) 食べる事の 意味を考える 2) 日本の食の問題 を知り自国と比較する	聴解 ライティング : テーマ: 経験を述べる 意見を述べる	Anime: 千と千尋の神隠し Facebook: 日本人学生との話し合い(食料廃棄問題) (* 2015年のみ)
食育	日本の食育 状況を知り自国と比較し、 望ましい形の食育 を考える	読解 オーラルプレゼンテーション(グループ) 聴解 ライティング	Web: 小中学校での食育の現状 Web: オンザウェイジャーナル「服部幸應の食育の時間」 Facebook: 日本人学生との話し合い(食育は誰がすべきか)
捕鯨 (* 2014年のみ)	捕鯨文化と 歴史を知りその是非 を考える	読解+オーラルプレゼンテーション(グルー プ) ライティング : テーマ: 意見を述べる	Comic: 「おいしんぼ」 13 第1話/激闘鯨合戦

	目的	主な言語活動	教材/メディア	Five Cs
学期末プロジェクト	日本の食文化を多面的にアプローチし よりよく日本事情を理解する	読解 会話・インタビュー 聴解: インタビューのトランスクリプト ライティング: 1) 日本人へのお願い お礼のメール、2) 期末レポート オーラルプレゼンテーション	Web: 資料の読解 Skype: 日本人へのインタビュー	Culture Connections Comparisons Communities Communication

教室外授業

2015年: ゲストレクチャー : 「日本食」、「旬」、「地産地消」のコンセプトを秋田料理を通して理解する

2014年～2016年: 学期末プロジェクトの英語でのプレゼンテーション 公開発表会

2014年～2016年: 調理実習(2014年、2016年: 一汁三菜; 2015年: 秋田郷土料理)

*5C: ACTFLが策定した外国語教育の基準

- 1 Communication: コミュニケーション 英語以外の言語でコミュニケーションすること
- 2 Cultures: 文化他者文化に対する知識を獲得・理解すること
- 3 Connections: コネクション、関連付け 他の分野の課目と外国語を関連付け、情報を得ること
- 4 Comparisons: 言語や文化に対する内省の目を養うこと
- 5 Communities: 国内外での多言語併存状況下でその場に参加すること

千と千尋の神隠し 食べるシーン 例



CCBIを目的とする活動

- 1) コースプロジェクト
- 2) SNSを使った日本語話者との意見交換

1) コースプロジェクト

(リサーチ＋日本語話者へのインタビュー)

目的: 日本の食文化の様々な側面を知る

手順:

- 1) 興味のある分野の選択 (例: 歴史 政治 医学 ビジネス
アート 言語 環境 家族関係 教育など)
- 2) リサーチクエスチョンの設定
- 3) ネットリサーチ
- 4) 日本語話者へのインタビュー
- 5) オーラルプレゼンテーション(学習言語＋英語)
- 6) レポート

(客観的な情報は自分で調べ母語話者と話し合いができる
論点を見つけ意見交換する)

コースプロジェクト トピック例

- The Sounds of Japanese Cuisine.
- Food Education for Better Life Style
- Environmental Issues Through Food: Overfishing
- Homemade Bentos and the Japanese Family
- Nomikai(Drinking party): a part of the Japanese Business Culture
- How nuclear radiation is still affecting Japanese food nowadays?
- Food in Anime And Why We Care
- Food Onomatopoeia: Why Are They Important For Children?
- A Mix Of Cultures And Foods: Yoshoku
- Konbini: Who Are They For?
- Household Eating Habits Reveal about Japanese Family and Culture
- Chain Restaurants and Japan: How Does Starbucks Accommodate to Japan versus America?
- Differences in “Japanese way” and “Korean way” of cooking foreign dishes
- Whales and Japanese Culture: why should we allow limited whaling?

コースプロジェクトの考察

異文化に属する他者との対話を通じた関わりの中で

学習者1) 自己を内省する機会を得ている

学習者2) 他者を理解し受容する態度の大切さを学んでいる

2) SNSを使った日本語話者との意見交換

目的

- 1) 日本語で自分の体験、考えを書き込むことを通して運用能力を高める。
- 2) 日本の食に関連する問題についての理解を深め解決の糸口をさぐる

トピック例

- ◇ 食料廃棄について考えよう
- ◇ 食育は誰がすべきか

フェイスブックでの意見交換

トピック

食料廃棄について考えよう！



食料廃棄について考えよう！



- ✓ あなたの国にはどんな問題がありますか。身の回りで気がついたことはありませんか。
- ✓ それらの問題を解決するためにあなたの国ではどんな取り組みをしていますか。
- ✓ あなたはどんなことをしてしていますか。
- ✓ あなた自身はどうすればいいと思いますか。

SNSを使った日本語話者との意見交換活動の考察

1) 学習者が異文化の食料廃棄の実情やその背景にある文化習慣をその文化圏の出身者と対話することを通して、問題についてのより深い洞察が可能となった。

2) 自分の国の実情や文化習慣を他者の目からの批判を通して省みる機会が得られた。

今後の課題

◇評価の仕方

学習者のクリティカルな視点、姿勢、態度をどのように評価し成績に反映させるか。

Critical Thinking and Reading (2014, 2015, 2016)

Options	Count	Percentage
No Progress	1	3.57%
A little bit of progress	1	3.57%
Some progress	2	7.14%
Quite a bit of progress	15	53.57%
Substantial progress	9	32.14%
N/A	0	0.00%
Total	28	

Student Perceptions on Their Progress in Japanese Language Skills

based on Online Course evaluations by Students

Skills	Level of progress	2016	2015	2014
Writing	Substantial progress	25%	33.30%	42.90%
	Quite a bit of progress	58.30%	55.60%	57.10%
Discussion	Substantial progress	33.30%	66.70%	57.10%
	Quite a bit of progress	50%	22.20%	28.60%
Reading	Substantial progress	33.30%	33.30%	28.60%
	Quite a bit of progress	50%	55.60%	57.10%
Cultural Understanding	Substantial progress	75%	77.80%	71.40%
	Quite a bit of progress	8%	22.20%	28.60%

本コースにおける5C

	5C	作業、アクティビティ(例)	使った教材 (例)
1	Communication (コミュニケーション)	意見交換 インフォメーションギャップ オーラルプレゼンテーション	マンガ 読み物
2	Cultures (文化)	講義を聞く Q&A シート (内容:平安時代の貴族の風俗、生活 歴史)	読み物 アニメ/マンガ 写真
3	Connections (つながり) 他の教科内容に関連 づけ情報を得る	意見交換(ウェブ上) (読書論、教育論 結婚論)	読み物
4	Comparisons (比較) (日本語と母語の比較 により言語と文化への 洞察を養う)	グループワーク エッセー (テーマ:ものあわれを 感じた瞬間)	マンガを含む 使用したすべての教材
5	Community 国内外において 多文化、他言語 社会に参加する	(5.2 人生を豊かにするために日本語、 を使用し生涯教育の一環として 学習の継続 を心がける)	マンガを含む 使用したすべての教材